

宣 誓

本日は大変お忙しい中、新入職員歓迎式を開催していただきまして、誠にありがとうございます。また、小口理事長はじめ、多くの方々のご臨席を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

本日、同期の仲間とともに原子力機構の一員として迎え入れていただけたこと、心から感謝し、また大変嬉しく思います。小口理事長より温かい励ましのお言葉を頂戴し、深く感銘を受けますとともに、職員としての責任を実感し、身の引き締まる思いでございます。

今年は年始から能登半島地震が発生し、一を経過しても余震が続きました。私は、富山県で能登半島地震を経験しましたが、被災された方々はより大変な思いをしたと思います。富山県では港の埋め立てによる液状化現象が起り今もまだ通行が困難な道路が多くあります。

私は、地震発生後、配属先である敦賀本部は無事であるか不安を感じ、早急に地震被害情報を確認したことを鮮明に覚えています。

これ以上に原子力施設の状況に不安を感じる国民の皆様は多いはずです。原子力科学技術が一般的に利用されるサステナブルな未来社会を実現するためにも、より多くの方々への理解、そして自分自身の理解も同時に広げ、社会と共に進んでいく所存です。

そのためにも私たちひとりひとりが目標を具体的に持ち、業務に取り組んでいく必要があります。私の社会人一年目の目標と致しましては、新生活に慣れることはもちろんとして、与えられた業務をしっかりとやり遂げ、内容や計画をどのように実施すれば良いか考え、実践し、社会人としての基礎を築いていきたいと考えております。

本日より私たちは原子力機構の一員となりますが、社会人としても技術者としても未熟でございます。先輩職員方にご迷惑をお掛けするかとと思いますが、不明点は自ら尋ね、知見を広げていきたいと考えておりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう御願い申し上げます。

最後に、原子力科学技術を通じて、人類社会の福祉と繁栄に貢献することをここに誓います。

令和6年4月1日
新入職員代表 杉山 奈穂